



ピクテのESGの取り組み②

ピクテでは、ESG投資においてインデックスプロバイダーの責任も重要と考えています。ピクテは2018年8月にSwiss Sustainable Financeと共同で、主要インデックスプロバイダーに対し、対人地雷やクラスター爆弾、化学兵器や生物兵器の製造に関わる企業を主要インデックスから除外することを求める公開状を発表しました。インデックスプロバイダーへの働きかけを通じて、ESG投資がより一般的になるための取り組みを続けていきます。

インデックスプロバイダーへの公開状

ピクテは、ESG投資がより一般的なものになるために、インデックスプロバイダーの責任も重要と考えています。インデックスプロバイダーとは、投資で使用されるインデックスを開発・提供する企業です。インデックス投資は、インデックスプロバイダーが作成した特定のインデックスへの連動性を高めることを目的に運用を行います。

インデックス投資の代表的な問題点は、本来投資したくない銘柄も、インデックスに組み込まれていれば投資せざるを得ないという点です。例えば、インデックスに非人道的な兵器を製造している企業やガバナンスが全く機能していない企業が含まれていた場合、たとえ投資家がそれらの銘柄に投資しなかったとしても、投資せざるを得ません。近年、インデックス投資の残高は拡大を続け、運用資産全体に占める割合は非常に高くなっています。したがって、ESG投資が一般的なものになるためには、インデックスプロバイダーの役割や責任は非常に重要であると言えます。もちろん、各インデックスプロバイダーは、近年ESG関連のインデックスの提供を開始していますが、一般的なインデックスに比べて認知度は低く、関連するファンドの残高もまだまだ小さい状況です。

ピクテは、2018年8月にSwiss Sustainable Financeと共同で、主要インデックスプロバイダーに対し、対人地雷やクラスター爆弾、化学兵器や生物兵器の製造に関わる企業を主要インデックスから除外することを求める公開状を発表しました(図表1)。この取組は、2020年1月時点で、174のアセットオーナー(年金基金等)および運用会社から賛同を得ています。今後もインデックスプロバイダーへの働きかけを継続し、ESG投資がより一般的になるための取り組みを続けていきます。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

図表1:インデックスプロバイダーへの公開状

- 対人地雷やクラスター爆弾、化学兵器や生物兵器の製造にかかわる企業を主要インデックスから除外することを求める公開状を発表(2018年8月)
- Swiss Sustainable Financeと共同で発表
- 国連責任投資原則(UN PRI)のプラットフォーム上でイニシアティブを公開(2018年11月)
- フィナンシャル・タイムズを含む90超のメディアで取り上げられている(2019年2月時点)
- 174のアセットオーナーおよび運用会社(合計運用資産残高約9.7兆米ドル)が賛同(2020年1月時点)



出所:Swiss Sustainable Finance SSF Engagement Initiatives
<https://www.sustainablefinance.ch/en/engagement-initiatives-content---1--3117.html>